# オリンピックによせて (2)

市スポーツ振興審議会長　沢村武一

近代国際オリンピック大会は、一八九四年に創設され一八九六年古代オリンピック発祥の地ギリシヤの首都アテネで第一回オリンピック大会が開かれた。第二回パリ、第三回セントルイス、第四回ロンドン、一九一二年スェーデンのストックホルムで行われた第五回オリンピック大会に、日本から陸上の三島弥彦、金栗四三の両氏が参加した。これはアジアからオリンピックに選手が参加した最初で、これを引率したのは東京高等師範学校長加納治五郎先生ほか一名であった。第一次世界大戦で次の第六回ベルリン大会は中止され八年後の一九二〇年アントワープで第七回大会が開かれた。この大会には役員、選手十九人を送り陸上、水泳、テニスに出場、テニスで熊谷、柏尾選手が活躍して、シングルス、ダブルスにそれぞれ二位を獲得した。一九二四年の第八回パリ大会には、役員 選手二十九人が参加し、一九二八年の第九回アムステルダム大会には役員、選手は五十六人に及び、陸上競技の三段跳で織田幹雄選手が、水泳の二百米平泳で鶴田義行選手が共に優勝し、国旗「日の丸」をアムステルダムの空高くひるがえした。

一九三二年北米ロサンゼルスで開かれた第十回大会には二百名の大デレゲーションを送った。これは開催国アメリカに次ぐ大きなデレゲーションであった。この大会では陸上競技で金メダル一個（三段跳）水泳では五個を獲得した。そして、世界の人々に「日本人は身体が低いが水泳には特技を持つ」という印象を強く与えた。その他馬術で西竹一中尉が金メダルを獲得した。一九三六年のベルリンにおける第十一回大会には二百五十一人という大多数の役員、選手団を派遣した。

第十二回東京大会、第十三回のロンドン大会は第二次世界大戦のため共に中止され、一九四八年ロンドンで第十四回が開かれたが日本は参加しなかった。一九五二年ヘルシンキで開かれた第十五回大会には、第二次世界大戦後はじめて参加することが出来、百六人の役員、選手を送ったが敗戦後の青少年の精神的な混乱、食糧不足、学校制度の改革による一時的な混乱が重なり、戦争前より各種競技の成績が低下したのに対し、欧米諸国では逆に記録が著しく向上していて、この選手団の成績は戦前数回の大会より悪かった。一九五六年メルボル で開かれた第十六回大会には役員 選手百六十人を送った、陸上、水泳は戦前のような良い成績を挙げられず体操、レスリングは戦前より充実した良い成績であった。

第十七回のローマ大会には、二百八人の役員、選手を派遣した。

第十八 大会が東京に決定していた関係で百余人の調査員を送り体操では団体、個人で良い成績を挙げた。

右のように、オリンピック大会に出場参加した役員、選手の数から第十一回ベルリン大会が一番多く、文部省派遣の学事視察者や、一般のオリンピック視察、観光者などを合せると三百数十人の多きに達した。

**転入・転居の届出は　14日以内に　…住民登録…**

# 難航中の合同セキについて

野中兼山先生の事業のうち特筆すべきは山田セキ土功事業で、その管理運営のため明治二十三年町村制施行役、関係町村で一部事務組合を設けた。

しかし当時は法人として認められず、不便があったため同二十八年に組織を改正して旧十三カ町村はこれに関する規約や条例を制定した。

そうして組合長、助役、収入役、議員（二十三人）を選任して運営し今日に至った。

ところが最近諸セキを一本化する、いわゆる合同セキ構築問題がクローズアップされてきた。

## 構築費と負担金

嶺南総合開発期成同盟会によると 構築費は二十七年当時十億円、三十二年十五億円、三十五年十一月四日の山田セキ土功組合事務所の説明会（期成同盟会）では、国、県営事業合計八億円と上げた。

また同月十八日に大篠公民館での説明会（期成同盟会）では国、県事業で四億二千円と打ち出された。

その後三十六年末より現在に至る計画では六億円となっており、八億円の場合は一反歩に付き四百五十円の負担金を必要とし、五十二年までに元利とも償還することになる。

六億円の場合は、反当負担金二百四円で、元利の償還期間は六十六年までだが、長期に償還すると負担金はかなり下がるはず。また計画当時の物価、労務者賃金などの変動があるので困難件と不安があると思われ。

## 水量の不安

三十六年八月に県ならびに人交好保氏、竹黒川地区農民代表の調査による山田セキ中井川取水量は五・四トンであった（当時物部川流水量は二十トンほど）。

合同セキ完成後の期成同盟会の分水計画はいちじるしく減水することとなる。

例を上げると、物部川の水量二三・九トンの場合は中井川は三・四トンに減水し右の計画案は山田セキ関係農民として、水量に不安を持つわけだ。

しかし三十五年十二月の同セキ組合議会においては、現段階で新セキの構築計画と構想が現実に合致しないという理由で全員一致 全面的反対を決議した。もつともその際県に対するおもわくもあって、次の三項目を合わせて決議している。

①カンガイ水量確保について不安が除去されていない
②地元負担金に対する見通しがついていない。
③排水施設に関する計画が未解決である。

工費は国、県補助と地元負担（一割五分、関係農民負担）で造成する。

嶺南総合開発期成同盟会の日ごろの説明によると、市に負担してもらうというが相当多額であるため市の負担は望みが薄いと思われる水量分配計画や負担金その他の事情からみて、関係農民が納得できず、構築に対し積極性がないわけだ。

話は前後するが、土功組合の特別調査委員会では、工費六億円で工事できないと見ており、筆者は二十億円ほどかかると思う。

本年五月に、嶺南総合開発期成同盟会が出した「物部川合同セキの沿革と現状」というパンフレットの内容には、事実と相違する点がある。

さる六月十三日の市臨時議会で執行部の合同セキ説明につき、筆者が相違点をくわしく説明したところ、執行部は全面的に納得し、議会にしてもなんら意見が出なかったことである。

以上のような事情のため、関係農民の納得ができないかぎり、合同セキには積極性が望まれない。

山田セキ土功組合議員　福川藤茂

# 市民の声

締切　毎月二十日
宛先き　広報委員会

## なめられた市長

建設的な意図から、職員の胸に名札をつけさせようとして拒否され、いま名札をつけているものは一人もないという。

また市の公用バイクを通勤に乗り回わす職員もあると市民は批難している。

これはささいな事のようであって、事は重大だ。最高責任者の指令が簡単にホゴにされることは、その職責と人間性をも無視されたと同然のことだ。指令実行が確立されれば、議会で職員の言動をとかくいわれることもなくなろう。（A青年）

## 不都合きわまる

市労働組合協議会は南国市内の諸会社労仂組合、教組市職組などによって組織されている。

伝えられるところによると市当局は、協議会の住民税引き下げ要望に対し、協議会の施設整備かなにかの名目で、二十万円か、それに近い金を見返りとして渡すという。

しかし、これは問題である市内には協議会に属しない月給取りがある。筆者もその一人で同じ税率によって課税され納税している。

協議会がうるおうことになっても、労協外勤労者は、なんらの利益も受けることがない。公平を期すべき課税関係を根拠とする場合一方に利益を与え、一方は少数、また は組織がないことを理由にして、見すごすことはできないはずだ。

池川市長と税務課に望む、公平を期せ。（一勤労者）

## ウデたちを助役に

小笠原助役は辞職した。やがて後任を選ぶことになるが、そのさい市長は、自分とおなじようなタイプの人物でなく、いわば反対の感覚、言動、ともに鋭い人物を選ぶべきだ。

また適当な人物なら、南北どこの出身でもよい、というものの、北部から助役を出せ、というのが北部住民の意志であることも考えるべきだ。（老農）

# 南国俳壇

北村涼々子選

◎早稲開花農夫のみ知る朝の香　大島 新草
空高くひびきひろがる花火かな　岩原 常男
老農の独り静かに深田打つ　西岡双島子
くちなしの静かにゆるゝ夕かな　溝淵由記男
屍を埋めたる土に蝶とまる　井上はじめ
闇の汽車明滅夜学の子を迎う　和田ひでみ
死処はこゝ岬の端まで椿咲く　浜田 豊子
蟻の道そこは私の通る道　沢田たかほ
果つ芦の沼の生涯蛍生れ　和田 幸郎
月明の蛍少さく灯し合う　池 さち
ふるさとの緑の世界母います　浜田とし子
水喧嘩少年の口笛に止む　前田 昭子
開け放ち貧しきまゝの夏座敷　西木かよ子
郭公や谿はいよいよ深くなる　井上なるき
飛爆音絶へず羽田にある酷暑　島崎洗一
雨に黙す築山を蟹上りおり　甲藤芷蘭
枇杷熟れて谷はゆたかに家を置く　大村幸男
汗の眉真白く染めて石灰作業　田内直子
ノボリ立て浄めし馬場や夏祭　岩崎麗香
苗代の濃き緑十時のサイレン　北村菊女

## 俳句募集

投句数、当季雑詠三句　締切、月末締切
投句方法、葉書に自筆で三句を記し、住所氏名（号）を記載のこと
送先、南国市大埇字弘井ケ内西岡双島子
次回選者　池 植竜

# 短篇　ヤマモモの季節 (3)

十市梨夫

順子の墓は二年前かれが登った巨木の下にあった。まだ木の香も新らしく一基だけぽつんと立っていた。父祖の墓はもっと別の場所にあるが、ここに埋めたのは順子の遺言によるものであった。かれは膝を折って静かに合掌した。そうしていると順子の死がだんだんに実感となって胸をしめつけてくる。かれの頭上には今年も豊熟したヤマモモの重なりがあったが、いまはもうその木へ登ってみようとも思わない。かれは立上ると南に展けた背田の縞目を眺めた。あの時順子はながいこと背田の拡がりに眼をやっていたが、その清楚な姿がまだまざまざとかれの網膜には焼きついている。だが、やがてかれの追想はもっと遥かな世界へと流れていった。背田のうねりを超え、松並木の向かうにきらめく波のうねりの果ての異国でのことが泛んできた。

アメリカでの一年有半。新婚の夢に加えて思いがけない立身出世、慌しいが祝福されてよい日々が確かにそこにはあった。しかしそれはほんとうに充たされた日々であったかと訊かれたらちょっと答えに窮したであらうそんな日々であった。重役の寵護によって与えられた自分の地位が、純情なかれにはなんとしても心苦しかった。妻は明朗なたちでかれを不快にする何ものをも持っていなかったし、妻のバラ色の香気は時々かれを陶酔の境へ誘いこんだが、その後では決つて順子のことが思いだされた。濃い睫毛のかげの深い眼がじっとかれを見ている。それは断ちがたい郷愁のようでもあった。いまや妻の不慮の死によってアメリカでの生活は終ったかれは一時は途方に暮れたが、身勝手にも妻の死を運命の啓示として受取った。そして今度こそ順子と結婚しようと思った。それで帰国すると同時に直つすぐにこの家を訪れてきたのである。

かれは先程順子の遺品として受取ったものを開く気になった。封を切ると中から護手の小さな箱がでてきたが、それは紐のかわりに黒髪のひと束で堅く結んであった。箱に納められたのはヤマモモの押花であった。二年前のあの日、かれが話のついでにヤマモモの花を見たいと云ったので、大事に蔵っておいたのであろう可憐な花はからからに乾いていたけれど、順子が残した黒髪のひと束はいまもつやつやと輝いていた。死を予期してからの順子がかれとの約束を果たすために次の訪れを待ちわびたであろうその心根が、いまは宛らに解る気がした。押花の下には更に一枚の紙片があった。

「思いいでよ。もし運命のとこしえにわれを君より別ちなば、わが悲しき恋を思いいでよ。別れし折を思いいでよ。わが心の響くうちは、わが心君に語らん、思いいでよと」

それはミュッセの詩であった。草深い村で病いを得て詩に慰めを見出していた孤独なおとめの心が、かれにはよく分った。そしてこの詩にかれへのひたむきな思慕のおもいを托したものであることも。だのに自分は順子のために何をしてやつたらうか、そのこと[illegible]い刃物のように胸に突き刺さった。かれはいまにも泣きださんばかりであった。

ふとかれは背後に何かの気配を感じて振返った。それは雨を含んだ風のいたづらであったか、または単なる錯覚に過ぎなかったか、確かにそこに順子のまぼろしを見たと思った。すると不意にその風にあおられて落ち散った過熟のヤマモモが木目も新らしい卒塔婆を血の色で染めた。

完

ブルドーザー　賃貸
立田　吉本
電話 日章 29番

毛糸
トーア、スキー
ローレル、カネボー
後免西町　富士屋百貨店
TEL248

お見合に
御婚礼に
山崎写真館
南国市後免中町
電話（南国）354